キャラクター名: ムギト

プレイヤー名:

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	魔導師	性別		年齢	
冒険者Lv	9	経歴	田舎で育った		
経験点	1100		大好きな食べ物がある、あった		
			大切な約束をしている		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	6	器用度	6	1		13	2
		敏捷度	7	5		18	3
体	5	筋力	9	3		17	2
		生命力	7	6		18	3
心	10	知力	10	14		34 + 2	6
		精神力	7	7		24	4

技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	9		
ﾌﾟﾘｰｽﾄ/ﾕﾘｽｶﾛｱ	4		
セージ	7		
エンハンサー	5		

戦闘特技

鋭い目	2120 p		p
弱点看破	2121 p		p
魔法誘導	IB32 p		p
魔法拡大/数	IB39 p		p
魔法収束	IB39 p		p
魔法制御	IB32 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔神語	○	
魔動機文明語		○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術

オウルビジョン	
メディテーション	
アンチボディ	
ストロングブラッド	
スフィンクスノレッジ	

名誉アイテム	点数
	50
	30
	20
	100

名誉点 所持 335 /合計 535

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー		7		3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値		0	4

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ﾀﾞﾒｰｼﾞ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
スパイラルホワイトロッド	1H			2d+ 0	0	1											
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

魔晶石(2)x6	○□□○□□
魔晶石(3)x20	○□□○□□
魔晶石(5)x15	○□□○□□
魔香草x10	○□□○□□
魔晶石(10)x5	○□□○□□
叡智の腕輪x3	○□□○□□

魔香水x10	○□□○□□
月光の魔符(2)x3	○□□○□□
マナリング	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 5850 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 0	4

HP
47

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 14	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 12	2d+ 14

MP
65

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	9	15			
神聖魔法	4	10			

装備品		説明
頭	とんがり帽子	
耳		
顔		
首		
背中		
右手	叡智の腕輪	
腰	ブラックベルト	
足		
その他	信念のリング	

装備品		説明
左手	叡智の腕輪	

その他メモ

班貯金1000G

フェイダンの片田舎でフツーに暮らしていた悪ガキ。好きな食べ物は肉じゃが。カーチャンとか妹がよく作ってくれたらしい。
ムギトの日課は親友と修業をすることだった。ムギトは見よう見まねの魔法で、相方は自己流の剣術で魔物とやりあったりして村の大人たちをひやひやさせていたとか
そんな二人の活躍(悪事)がある日偶然某国の騎士団の目にとまった。何を言われるかと思いきや、連中はムギトの親友を騎士見習いとしてスカウトしてきた。
思案の末、彼はもっと強くなるために騎士を目指したい。そして、村の皆やもっと多くの人を守れるようになりたい、とムギトに打ち明ける。親友との突然の別れに大層動揺したムギトだったが、「だったら俺は、カインガラに行って一流の魔法使いになる。そうしたらもう一度会って、誰にも負けないコンビになろうぜ。もし途中で諦めたりしたらタダじゃおかねえからな！」と約束を交わすのだった。
それから数年が経ち、今のムギトは魔法学校で変な(魔法の腕だけは確かな)女子共に囲まれて前途多難な日々を送っている。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟